

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-22 緑地維持管理事業 □支援部門						
主管課	公園課	関連課					
分野名	みどり						
目標 (目標値)	防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図る。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
事業の対価							
運営資源状況	決算値(千円)	34,607	37,659	43,164			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	34,607	37,659	43,164			
	人員配置数	2.0人	2.0人	1.5人			
	人件費(千円)	15,543	15,890	13,042			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	50,150	53,549	56,206			
	市民1人当りの経費(円)	282	302	317			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
緑地維持管理事業	34,607	緑地維持管理事業	32,915	今後の方向性	A	理由・手法	市所有の緑地を適正に維持管理する。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	緑地面積は年々増加しており、樹木の適正な維持管理が困難になりつつある現状では、緑地の維持管理は主に隣接する住宅等の日常生活への影響に配慮した危険木の枝払い、伐採等に終始している。										
課題解決のための取組	緑地周辺住民からの要望は多種多様であるため、そのつど現地を確認し、緊急度に応じて臨機応変に処理するよう心がけた。					取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	植生遷移に任せた管理となっており、広葉樹林、針葉樹林、竹林など林相に応じた維持管理や緑地内部の倒木や枝折れの処理ができていない。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	平成25年度からの権限委譲に伴い近郊緑地特別保全地区の用地取得が進んでおり、緑地面積は更に増加する傾向にある。緑地面積の拡大に伴う緑地管理の充実に努める。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ A			
※□事業完了											

評価者名

公園課 担当課長

館下優三

